

News Release (1)



【平成 29 年 9 月 7 日 (木) 午後 2 時発表】

▼一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会が 「第 3 回 ジャパン・ツーリズム・アワード地域 部門賞」を受賞

▼概要

ジャパン・ツーリズム・アワードは「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果により、国内・海外の団体・組織・企業の持続可能で優れた取り組みを表彰することで、ツーリズム業界の発展・拡大に寄与することを目的としています。

本年は国連の定める「持続可能な観光国際年」でもあり、持続的な観光への取組をテーマとして募集を進めた結果、昨年の 158 件を大きく上回る 239 件のいずれも持続的な取組の応募がありました。

国内・訪日領域、海外領域、UNWTO（国連世界観光機関）部門の 3 カテゴリーとし、国内・訪日領域 187 件（最多の応募部門は国内・訪日領域地域部門の 79 件）、海外領域 48 件、UNWTO 部門 4 件でした。多くの ICT 関連企業からツーリズムの拡大に資する取り組みがあり、また、本年新設のメディア部門には美しい映像を駆使して国内外の魅力を発信して需要の拡大を目指す取り組みの応募がありました。

その中で、一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会が地域部門賞を受賞しました。取り組み内容としまして『かやぶきの里美山は観光でがっちり！』と題し、高齢化が進む中、DMO 的発想による地域経営で、各種プログラムを展開。観光客の増大による地域経済へ貢献している点が評価されました。

※表彰式は 9 月 21 日 (木) ツーリズムEXPOジャパン開会式（東京ビッグサイト）に続いて行われます。

<http://t-expo.jp/biz/program/award.html>

https://www.kyodo.co.jp/pr/2017-08-25_1690942/

▼この記事に関するお問い合わせ

農林商工部 商工観光課 担当：柴田（電話 0771-68-0050）

第3回 ジャパン・ツーリズム・アワード受賞者発表！

観光が日本の成長戦略として位置づけられる中、国内外の人々の交流の拡大が期待されています。観光産業は、国内、海外、訪日の各分野の観光振興において幅広い産業が関与し、日本の経済成長へ大きな役割を果たすものです。本アワードは、ツーリズム業界の発展・拡大に貢献し、「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果に寄与、または国内・海外の団体・組織・企業の持続可能で優れた取組を表彰するものです。また、本アワードは、同イベントの機会を通じ「観光立国、日本」の実現を目指す取組を国内外に周知・啓発していくことを目的としています。なお、2017年度のテーマは、「持続可能な観光による社会の実現」です。特に、国内・訪日領域では「DMOを含む広域観光による社会の活性化」、海外領域では「新たなる需要創造と促進活動」に重点をおきます。



■地域部門賞 受賞

一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会

取組名：『かやぶきの里美山は観光でがっちり！』

・取組概要

これまで、十分に行われてこなかった地域事業者向けのヒアリングや市場調査に基づいたターゲットの設定と商品造成を行う。プロモーション活動として欧米豪のFITをターゲットにホームページの多言語化を実施中。また、ガイドとツアー主催者の登録制度をエコツーリズム推進協議会と連携して行い、ガイドによる里山語り部ガイドやアクセスの課題を解消するためのインバウンドツアーを造成中。同時に、地域で活動する方々を囲んで交流を深めるエコツアーカフェを毎月実施、前年度から継続しているガイドの学習講座を年間10回予定。昨年度から開催している美山エコツーリズム大会は、情報発信やプログラムやガイドの質の向上に貢献している。

・具体的な実績

美山地域の観光訪問者数は平成28年約90万人（前年比115%）となっている。近年は台湾を中心にインバウンドが急増し、個人旅行者のみならず団体日帰り・宿泊客の増加がみられる。海外でのプロモーション活動やWEBでの情報発信等により都市と農山村の交流拠点である宿泊施設、美山町自然文化村河鹿荘では、年間宿泊者のうち、約18%が外客であり、団体の日帰り利用客は昨年10倍以上に伸びている。また、インバウンドの農山村教育民泊は年間10本以上実施。



プレスリリースに掲載された内容およびお問い合わせ先は発表現在のもので、その後、予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。